

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 年齢や当日の利用状況に応じて対応フロアを変えている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 当日の利用人数に合わせた対応職員の配置を実施している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 階段の昇降時は常時スタッフが見守り又は補助を実施している。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | | ○ | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページで公開している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 定期的に法人研修を企画しており、外部研修への参加も積極的に実施している。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 毎月開催する運営会議の際に次月の活動についての意見を出し合い、計画を作成している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 季節や天候・利用状況に合わせてプログラムを作成している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 休日には公共交通機関の利用や買い物学習等、実生活での生活スキル向上を図る活動内容を計画している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 子どもの特性・成長に合わせた支援計画を作成している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | タイムスケジュールに基づき、支援開始前のミーティング時に当日の動きや対応をするにあたっての注意点等をスタッフ間で情報を共有している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 保護者との引継ぎ内容を含め、全てのスタッフが送りから戻り次第、当日の振り返り、改善点や翌日の注意事項についてミーティングを実施している。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 特記事項と共に個別支援計画に基づいた記録の作成を行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 概ね6ヶ月に1回のモニタリングを実施。子ども保護者の意見をふまえ計画の評価・新たな計画の作成を行っている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | ○ | | | 活動内容が偏らないよう、月間にて活動内容作成している。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 代表者が参加している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校ごとに定期的に開催されるネットワーク会議に参加し、学校との情報共有に努めている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | 現在該当者なし。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | | 現在該当者なし。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | ○ | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時に説明を実施。また、その後も問い合わせがあった際には柔軟に対応を行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 毎月10日前後に次月の活動予定を送付している。また、休日等のお迎えの時間や活動内容についての注意事項がある際はメール等で連絡している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 手話やホワイトボードを使用しての筆談等子どもに応じてコミュニケーションの方法を変えている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | 餅つきなどの季節行事には地域の方にもご参加いただいている。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 年2回 火災・地震避難訓練を実施している。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 年2回 虐待防止・権利擁護に関する内部研修を実施している。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 年に1回虐待防止・権利擁護の研修に参加し制度や対応方法による理解を深めている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | アセスメントにより情報を把握しスタッフ間で情報を共有。該当する児童についてはおやつや食事提供の際に注意して対応を実施している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 事案が発生した場合は速やかに書類を作成し、後日スタッフ間での情報共有の場を設けている。 |